

平成30年上半期の消防局の災害・救急出動状況（速報）

西宮市消防局

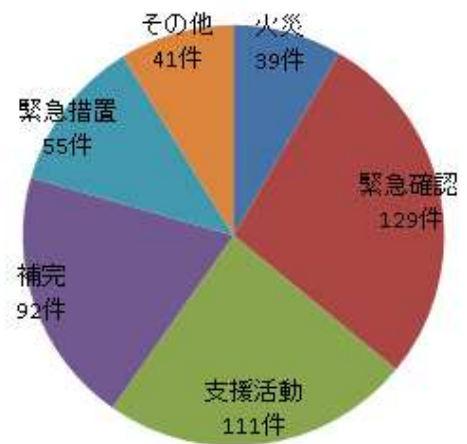
※ 統計の数値は速報につき、変わる可能性があります。

◆ 消防隊の出動件数

消防隊の出動件数は467件で、前年同期に比べ、34件減少

消防隊の出動件数は、467件で前年同期（501件）より34件減少しました。火災と火災出動以外の比率は、火災39件（8%）、火災以外428件（92%）となっています。

※ 火災出動以外の内容については、次頁「2 火災出動以外の内訳・件数」をご覧ください。



1 火災件数

前年同期に比べ、14件減少
火災による死者0名、負傷者13名

(1) 火災の件数は減少

火災件数は、39件で前年同期（53件）より14件減少しています。

火災種別の内訳は、「建物火災」26件（前年同期比4件減）、「車両火災」2件（前年同期比3件減）、「その他火災」10件（前年同期比8件減）、「船舶火災」1件（前年同期比1件増）となっています。

(2) 出火原因の第1位は「こんろ」10件、第2位は「たばこ」6件、第3位は「放火（放火の疑い含む）」、「電気機器」など2件の順となっています。

(3) 火災による死傷者は、死者0名（前年同期比同数）、負傷者13名（前年同期比9名増）となっています。

※ 火災状況については、別紙資料1をご覧ください。

2 火災出動以外の内訳・件数

消防隊出動件数のうち、火災以外の出動が428件

出動件数が最も多いのは、警報ベル鳴動等の「緊急確認」、次いで救急隊の支援等の「支援活動」、救急隊及び消防隊の移動配備の「補完」となっています。

火災出動以外の内訳は、次のとおりです。

種別	内 容	件数
緊急措置 (55件)	火災出動指令により出動し火災に該当しない事案	16
	危険物等の漏洩	37
	ガスの漏洩	1
	その他緊急措置が必要な事象	1
緊急確認 (129件)	怪煙の上昇	17
	異臭、異音の発生	9
	警報ベル等の鳴動	86
	ガス、電気等の消し忘れ	0
	事後聞知で出動し火災に該当しない事案	7
	その他緊急確認が必要な事象	10
支援活動 (111件)	救急隊の支援	31
	安全管理隊	78
	上記に該当しない支援活動	2
その他 (41件)	自然災害対応	7
	飼育動物等の保護、危険生物等の排除	3
	焚き火、野焼き、火遊び等	0
	高齢者、身体障害者等の介助	30
	その他社会的危険が考えられる事象	1
補完 (92件)	救急隊の移動配備	74
	救急隊以外の消防隊の移動配備	18

3 救助出動件数

救助出動件数は220件で、前年同期と同数

(1) 救助出動件数220件、救助人員122人

救助隊が出動した件数は、220件と前年同期と同数であり、救助人員は122人で前年同期より12人(10.9%)増加となっています。

(2) 事故種別の内訳は、「火災」3件(前年同期比2件増)、「交通事故」20件(前年同期比2件増)、「水難事故」1件(前年同期比2件減)、「機械事故」8件(前年同期比5件増)、「建物事故」104件(前年同期比9件増)、「ガス・酸欠事故」1件(前年同期比1件減)、「その他の事故(誤報等で出動した事故)」83件(前年同期比15件減)となっています。

※ 救助出動件数等については、別紙資料2をご覧ください。

4 救急出動件数

救急出動件数は、前年同期に比べ、増加(5.9%増)

(1) 救急出動件数、搬送人員数ともに、前年同期より増加し過去最高

救急出動件数は、11,984件と前年同期より669件(5.9%)増加となりました。また、搬送人員数も10,944人となり、前年同期より619人(6.0%)増加となっています。

(2) 事故種別は昨年同様1位急病、2位一般負傷

事故種別ごとの出動状況は、1位「急病」7,773件で、全体の65%を占めています。2位は「一般負傷」1,952件で、3位は「交通事故」808件となっています。

※ 救急出動件数等については、別紙資料3、4をご覧ください。

◆資料

1 平成 30 年（上半期）の火災状況

平成 30 年 6 月 30 日現在

区 分		単 位	平成 30 年	平成 29 年	比 較	増減率(%)
火災件数		件	39	53	▲ 14	▲26.4%
1 日当たり		件	0.2	0.3	▲0.1	▲33.3%
火 災 種 別	建物火災	件	26	30	▲ 4	▲13.3%
	(内、住宅火災)	件	23	19	4	21.1%
	林野火災	件	0	0	0	0%
	車両火災	件	2	5	▲ 3	▲60.0%
	船舶火災	件	1	0	1	皆増
	航空機火災	件	0	0	0	0%
	その他火災	件	10	18	▲ 8	▲44.4%
建物焼損面積		m ²	146	286	▲ 140	▲49.0%
1 件当たり		m ²	5.6	9.5	▲ 3.9	▲41.1%
林野焼損面積		a	0	18	▲ 18	皆減
1 件当たり		a	0	18	▲ 18	皆減
損害額		千円	33,398	15,785	17,613	111.6%
死 傷 者	死者	人	0	0	0	0%
	(内、65 歳以上)	人	0	0	0	0%
	負傷者	人	13	4	9	225.0%
主 な 出 火 原 因	(1) こんろ	件	10	10	0	0%
	(2) たばこ	件	6	4	2	50.0%
	(3) 放火 (放火の疑い含む)	件	2	12	▲ 10	▲83.3%
	(4) 電気機器	件	2	6	▲ 4	▲66.7%

※ 主な出火原因は、平成 30 年の上位を計上

▲印は減少

主な火災

出火日時	種 別	用 途	発 生 場 所	死者	負傷者	焼損面積
1 月 16 日	建物	共同住宅	一ヶ谷町	0	2	60 m ²
3 月 12 日	建物	複合用途	荒木町	0	1	66 m ²
4 月 27 日	建物	一般住宅	南昭和町	0	2	17 m ²

主な火災とは、損害額 1 0 0 0 万円以上、焼損面積建物 3 0 0 m²以上、林野 2 0 0 a 以上、消防長が必要と認める火災のいずれかに該当するものをいう。

2 救助出動件数及び救助人員

区分	総数	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス・酸欠事故	破裂事故	その他の事故
出動件数	220	3	20	1	0	8	104	1	0	83
救助人員	122	3	13	0	0	6	90	0	0	10

3 救急出動件数

	総数(件)	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他
平成30年	11,984	12	4	1	808	72	105	1,952	46	93	7,773	1,118
前年との比較	669	9	4	▲3	▲84	▲12	16	121	4	▲4	561	57

▲印は減

4 救急出動件数・搬送人員数の推移

